

特定非営利活動法人 北海道市民環境ネットワーク  
2021年度通常総会議事録

1. 日時 2021年6月24日18時30分から20時00分
2. 場所 オンライン会議システムによる開催
3. 正会員総数 74 出席数 50  
(当日13団体・6個人、事前表決17団体・2個人、委任状9団体・3個人)

4. 審議事項

- 第1号議案 2020年度事業報告
- 第2号議案 2020年度会計報告/監査報告
- 第3号議案 2021年度事業計画(案)
- 第4号議案 2021年度活動予算(案)
- 第5号議案 役員改選について

5. 議事の経過の概要及び議決の結果

(1) 開会

定刻に至り、司会者が開会を宣言した。

(2) 理事長挨拶

金子理事長より、総会出席の謝辞と、提出議案の検討と承認についてお願いしたい旨の挨拶があった。

(3) 総会の成立

司会者より、定足数の確認について、正会員74中、通常総会の出席は50(出席/13団体・6個人、事前表決/17団体・2個人、委任状/9団体・3個人)であり、定款第27条による2分の1以上の出席となるため、本総会が有効に成立していることの報告があった。

(4) 議長選出

議長の選出について議場に諮ったところ、司会者に一任となり、事務局案として正会員 黒松内ぶなの森自然学校の高木晴光氏を指名したところ、全員異議なくこれを承認した。

(5) 議長挨拶

高木晴光議長より、自己紹介と挨拶があった。

(6) 議事録署名人選出

議案の審議に先立ち、議事録署名人2名の選出について、議長が金子正美氏と鈴木玲氏を指名し、全員異議なくこれを承認した。

(7) 議案の審議及び結果

■第1号議案 2020年度事業報告

宮本理事より、2020年度事業報告について資料を基に、団体の主催事業、外部組織や会員と

の協働・協力事業等、事務局の管理・移転について報告があった。  
新型コロナウイルス感染症の影響により延期や中止になった事業があった旨、新規事業として、さっぽろ円山動物園との連携による環境教育関連業務に取り組んだ旨などを説明した。

#### ■第2号議案 2020年度会計報告及び監査報告

事務局黒子より、会計報告について資料を基に、活動計算書、貸借対照表、財産目録、注記について報告があった。2020年度の正味財産の増減額は58,522円で、次期繰越額は3,227,140円であった。

上野監事より、監査報告がなされた。事業及び会計の監査を行い、各種契約書や帳票類を確認し、事業の執行、会計の処理は適正であった旨の報告があった。

#### ≪採決≫

議長が、第1号議案、第2号議案について議場に諮ったところ、異議なく原案どおり承認可決された。

#### ■報告事項

金子理事長より、今後の団体の運営について報告があった。セブン-イレブン記念財団からの運営に係る助成金が2022年度(2023年3月まで)で終了する。2023年度以降の運営方針の変更が必要となる見通し。今年度から事業の見直しを行いつつ、運営の継続を検討していく。

#### ■第3号議案 2021年度事業計画(案)

宮本理事より、事業計画(案)について資料を基に説明があった。

2021年度も新型コロナウイルス感染症の影響で事業に延期や中止の可能性があるが、基本的に前年度の事業内容を継続し、自主事業や外部組織との協働事業を推進する。確定事項として、コープ未来の森づくり基金の受託事業が見直され事業内容に変更がある旨、新規事業として災害支援のアーカイブ作成の事業、環境啓発グッズの制作・販売に関する事業について説明があった。

#### ■第4号議案 2021年度活動予算(案)

事務局の黒子より、活動予算(案)について資料を基に説明があった。前年度事業を基準に算出し、正味財産は259,500円とした。

#### ≪質疑応答≫

(黒松内ぶなの森自然学校/高木氏) 助成金収入の金額820万円の内訳は。

(事務局/ 黒子) セブン・イレブン記念財団からの助成金額 800 万円、内 20 万円は返還予定のため収入は 780 万としている。他、ラブアース事業・森づくり事業に他の助成団体より各 20 万円の助成額である。

(高木) 返還の必要があるのか。全額運営に使用できるのではないのか。

(黒子) 今年度のセブン-イレブン記念財団の助成金額のうち 200 万は運営ではなく事業に対する助成金となる。申請予算に対して支出の変更や流用は認められない。新型コロナウイルス感染症の影響などの事業変更により返還する費用が生じている。

#### 《採決》

議長が、第 3 号議案、第 4 号議案について議場に諮ったところ、異議なく原案どおり承認可決された。

#### ■第 5 号議案 役員改選について

川口理事より、植田英敏理事の退任と顧問就任の報告があった。事務局案として、新任はなく、11 名の理事を再任としたい旨の説明があった。

再任の候補

理事：金子正美、枝澤則行、川口弘高、秋山孝二、麻生翼、内山到、草野竹史、鈴木玲、東田秀美、長谷川理、宮本尚

監事：高橋忠義、上野雅樹

#### 《採決》

議長が、第 5 号議案について議場に諮ったところ、異議なく各人の再任が承認可決された。

※総会を一時中断し役員による理事会を別室で開催し、役職者を決定した。

理事長：金子正美

副理事長：枝澤則行、川口弘高

#### ■第 6 号議案 その他

(黒松内ぶなの森自然学校/ 高木氏)

- ・寿都町では、核のごみ問題（受け入れを表明している）がある。近々町長選挙があるが、きたネットとして、受け入れ反対の意見を表明できないか。
- ・黒松内町周辺では、新幹線の残土問題（残土からヒ素が検出された）が起きている。また、風車がすでに 20 数建っている場所に、更に 2 社 20 数基の建設計画がある。このように北海道全体で起きている大きな環境問題にネットワークで反対活動に取り組んでいけないか

(理事長/ 金子) 北海道の重要な問題。今後の理事会や会員みなさんと相談して決めていきたい。他の理事が賛同ならば、個人的には高木さんの意見に団体として賛同する方向でいいと思う。

(理事/ 鈴木) 所属する団体で、浜厚真の風力発電の計画地で市民参加の生きもの調査を実施予定。反対の姿勢を示すとか政治的に動くのも一つだが、そのエビデンスを得るための調査や、意見を集約するなど、ネットワークの力でサポートすることがいいと思う。

(金子) 反対するには、科学的データを示して方針を示す必要がある。エビデンスベースで進める事が必要。

(理事/ 宮本) エネルギー関係では、別のエネルギー関連団体の代表として問題に取り組んできた。風力発電のバードストライク問題など、研究者と一緒にデータを提出して検討してきたが、中立的立場では非難されることに疲弊した経験がある。調査によるエビデンスを積み重ねていくことが必要。活動の支援を考えたい。

#### (8) 閉会

以上をもって通常総会の議事をすべて終了し、議長は、20時00分に閉会を宣言した。

上記の決議を明確にするため、この議事録を作り、議長及び議事録署名人において次に記名押印する。

2021年6月24日

議 長 高 木 晴 光

議事録署名人 金 子 正 美

議事録署名人 鈴 木 玲

